

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

旧年中は大変お世話になりました

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

三井記念美術館は、2005年に中野区の三井文庫別館を現在の日本橋に移転し、本格的な美術館として開館いたしました。日本橋は三井家創業の地であり、三井グループ各社に縁の深いいわば基地であります。そして、開館以来コンセプトにしております「東洋と日本の伝統的な造形と用の美」を柱に、今年も活発な美術館活動を展開し、高い芸術性と文化を発信してまいります。

昨年4月には、展示作品を最上の条件でご覧いただける照明のLED化を中心とする改修工事を終了し、リニューアルオープンの陶磁器による展覧会と、引きつづき開催した特別展「大時絵展」では、大変ご好評をいただきました。

本年は、現在開催している「国宝 雪松図と吉祥づくし」展につづき、2月には恒例の「三井家のおひなさま」展、そして新年度の4月からはNHK大河ドラマに関連した特別展「どうする家康」、6月からは特別展「三井高利と越後屋」、さらに9月からは特別展「超絶技巧、未来へ！」と、3回の特別展を開催いたします。

三井記念美術館は、江戸時代以降三井家が収集した質の高い美術品を多数伝えており、開館以来これらの作品を広く公開するとともに、今後も様々なテーマの特別展を開催してまいります。新型コロナウイルスの影響はまだまだ予断を許さない状況にありますが、本年も文化の中心として開かれた美術館を目指してまいります。

令和5年元旦

三井記念美術館
館長 清水 眞澄